
『大原社会問題研究所雑誌』 2005年度総目次

- (1) 2004年度の総目次は、2005年3月号（No.556）を参照されたい。
- (2) 2003年度の総目次は、2004年3月号（No.544）を参照されたい。
- (3) 2002年度の総目次は、2003年3月号（No.532）を参照されたい。
- (4) 2001年度の総目次は、2002年3月号（No.520）を参照されたい。
- (5) それ以前の総目次の所在については、2002年3月号（No.520）、
1992年3・4月合併号（No.400・401）を参照されたい。

なお、大原Webサイト（<http://oisr.org/>）でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、公開を行っている。

【2005年4月号 No.557】

【第17回国際労働問題シンポジウム】

グローバル経済化と国際労働移動——移民労働者のディーセント・ワーク——

2004年6月のILO第92回総会について 堀内光子

ILOにおける討議をめぐって 森實久美子

労働者の立場から 須賀恭孝

使用者の立場から 阿部博司

ILOにおける移民労働者問題の討議と日本——『グローバル経済の中での移民労働者に対する公正な取り扱いに向けて』を読んで 森 廣正

特別報告 マノロ・アベラ

質疑応答

参考資料①グローバル経済における移民労働者の公正な取り扱いに関する結論（ILO駐日事務所訊） ②移民労働者のためのILO行動計画（ILO駐日事務所訊） ③連合「連合の外国人労働者問題に関する当面の考え方」（抜粋）（連合第14回中央執行委員会、2004年10月21日） ④-1 日本経団連「外国人受け入れ問題に関する提言」の概要 ④-2 日本経団連「外国人受け入れ問題に関する提言」（抜粋）（2004年4月20日）

研究回顧 「日常的な労働組合」の研究（上） 栗田 健

書評と紹介 吉田恵子・斎藤哲・東條由紀彦・岡山礼子著『女性と労働——雇用・技術・家庭の英独日比較史研究』 松浦京子

五十嵐仁著『この目で見てきた世界のレイバー・アーカイヴス——地球一周：労働組合と労働資料館を訪ねる旅』 戸塚秀夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 日本における民主主義の現在——平和・民主主義・人権をめぐる対抗の現段階 五十嵐仁

所 報 2004年12月

【2005年5月号 No.558】

- 講 演 21世紀の東アジア労働力移動に関する多国間対応枠組み マノロ・アベラ（田村優子・川井孝子訳）
- 特別寄稿 中央大学と横山源之助（上） 立花雄一
- 研究回顧 「日常的な労働組合」の研究（下） 栗田 健
- 資料紹介 田沼裁判資料——解題と目録 松尾純子
- 書評と紹介 中村圭介・前浦穂高著『行政サービスの決定と自治体労使関係』 松尾孝一
ロバート・O. パクストン著、渡辺和行・剣持久木訳『ヴィシー時代のフランス——対独協力と国民革命1940-1944』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 2005年1月

【2005年6月号 No.559】

【特集】戦前期大原社会問題研究所の国際交流

- 大原社会問題研究所『日本マルクス主義文献』（未刊行）の意義——戦前期大原社研の国際交流と内藤赳夫の文献目録への取り組み 久保誠二郎
- 高野岩三郎とD.リャザーノフとの往復書簡（1928年～1930年） 大村 泉
- 特別寄稿 中央大学と横山源之助（下） 立花雄一
- 論 文 農民運動指導者三宅正一の戦中・戦後（上） 横関 至
- 書評と紹介 G. エスピン-アンデルセン、マリーノ・レジーニ編／伍賀一道、北明美、白井邦彦、澤田幹，川口章訳『労働市場の規制緩和を検証する——欧州8カ国の現状と課題』 下平好博
安野 正明著『戦後ドイツ社会民主党史研究序説——組織改革とゴータスベルク綱領への道』 平島健司
- 渡部記安著『21世紀の公私年金政策—米国とスウェーデンの最新動向』 武内砂由美
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 地方社会運動史研究の現状——愛知県自治体史を中心に 梅田俊英
- 所 報 2005年2月

【2005年7月号 No.560】

【特集】英国の福祉改革の動向と到達点（1）

- 英国の福祉改革の概観—「Welfare to work」を中心として 大山 博
- 英国の所得保障改革（上） 榊原 毅
- 英国の医療福祉サービスの動向と官民関係（上） 伊藤善典
- 論 文 農民運動指導者三宅正一の戦中・戦後（下） 横関 至
- 書評と紹介 丸谷 肇著『日本の雇用政策——その展開と特質』 永山利和

兼田麗子著『福祉実践にかけた先駆者たち——留岡幸助と大原孫三郎』 室田保夫
朴 昌明著『韓国の企業社会と労使関係——労使関係におけるデュアリズムの深化』

五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 1920-30年代における労働運動資料（絹業部門）を大原社会問題研究所とウォーリック大学に
求めて 永瀬順弘

所 報 2005年3月

【2005年8月号 No.561】

講 演 労働調査からみた若者の仕事と暮らし 白石利政

【特集】英国の福祉改革の動向と到達点（2）

EU・英国における社会的包摂とソーシャルエコノミー 中島恵理

英国の所得保障改革（下） 榊原 毅

英国の医療福祉サービスの動向と官民関係（下） 伊藤善典

書評と紹介 木本喜美子著『女性労働とマネジメント』 首藤若菜

伊藤セツ・天野寛子・天野晴子・水野谷武志編著『生活時間と生活福祉』 橋本美由紀

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 韓国金属産業における産業別組合の現状 相田利雄

所 報 2005年4月

【2005年9・10月号 No.562・563】

【特集】社会運動的労働運動論の概念と現状

社会運動的労働運動とは何か—先行研究に基づいた概念と形成条件の検討 鈴木 玲

日本における社会運動的労働運動としてのコミュニティ・ユニオン——共益と公益のあいだ

福井祐介

アメリカの社会運動ユニオニズム——ロサンゼルス of 新しい労働運動に見る 高須裕彦

論 文 韓国における経済危機と社会保障制度の成立 鄭 在哲

書評と紹介 渡辺雅男著『階級！社会認識の概念装置』 馬場宏二

平地一郎著『労働過程の構造分析——鉄鋼業の管理・労働・賃金』 鈴木 和雄

久米郁男著『労働政治——戦後政治のなかの労働組合』 五十嵐仁

善積京子編『スウェーデンの家族とパートナー関係』 中村広伸

社会政策学会会員研究業績一覧（2004年） 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2004年度の歩み

月例研究会 無償労働の貨幣評価の経過と現状—英国国家統計局の試算を中心に 橋本美由紀

所 報 2005年5・6月

【2005年11月号 No.564】

【特集】社会運動的労働運動論の歴史と現状（1）

- “企業別組合を中心とした民衆組合”とは（上）——社会運動的労働組合としての高野総評に関する文献研究 篠田 徹
- 韓国の社会運動的労働運動の過去と現在（上） 権蕙洵（鈴木玲訳）
- 論文 国民健康保険制度形成過程における医療利用組合運動の歴史的位置——岐阜県小鷹利村を事例として 高嶋裕子
- 研究ノート 内職・家内労働研究の課題と分析視角——在宅ワーク研究の進展のために 高野 剛
- 書評と紹介 ジェレミー・ワディントン、レイナー・ホフマン編／小川正浩訳『ヨーロッパの労働組合——グローバル化と構造化のなかで』 松村文人
- 西成田豊著『経営と労働の明治維新——横須賀製鉄所・造船所を中心に』 高村直助
- 梶田孝道・丹野清人・樋口直人著『顔の见えない定住化——日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク』 佐藤 忍
- 村串仁三郎著『国立公園成立史の研究——開発と自然保護の確執を中心に』 小祝慶紀
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 2005年7月

【2005年12月号 No.565】

【特集】社会運動的労働運動論の歴史と現状（2）

- 社会運動的労働運動と生協労働運動の交叉 手島繁一
- “企業別組合を中心とした民衆組合”とは（下）——社会運動的労働組合としての高野総評に関する文献研究 篠田 徹
- 韓国の社会運動的労働運動の過去と現在（下） 権蕙洵（鈴木玲訳）
- 研究回顧 『資本論』から鉱夫の歴史・レジャー・国立公園の自然保護史の研究へ（上） 村串仁三郎
- 書評と紹介 矢野久著『ナチス・ドイツの外国人——強制労働の社会史』 原田一美
- 外村大著『在日朝鮮人社会の歴史学的研究——形成・構造・変容』 小林知子
- （財）日本ILO協会編集・発行『欧米の社会労働事情——欧米人の仕事と暮らし』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 連合と全労連の組織拡大政策とその達成度 早川征一郎
- 所 報 2005年8月

【2006年1月号 No.566】

【特集】感情労働論（1）——スキルとしての感情管理

- 欲望喚起装置としての感情労働——感情労働の「再発見」に向けて 崎山 治男
- 感情管理とサービス労働の統制 鈴木和雄
- 論文 片山潜，在露日本人共産主義者と初期コミンテルン 山内昭人
- 研究回顧 『資本論』から鉱夫の歴史・レジャー・国立公園の自然保護史の研究へ（下） 村串仁三郎

書評と紹介 木村保茂・永田萬享著『転換期の人材育成システム』 平沼 高
マジェラー・キルキー著，渡辺千壽子監訳『雇用労働とケアのはざまで——20カ国母子ひとり
親政策の国際比較』 高橋睦子
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2005年9月

【2006年2月号 No.567】

【特集】感情労働論（2）——スキルとしての感情管理

感情労働とその評価 西川真規子
看護職における感情労働 三井さよ
論 文 福祉の生産アプローチを用いた居宅介護サービスの費用・効果分析 塚原康博
電機産業における派遣・請負労働者の活用と課題——人的資源構造の変化と能力開発型人材管
理の課題 木村琢磨
読書ノート 米田佐代子著『平塚らいてう——近代日本のデモクラシーとジェンダー』の批判的検討
松尾純子

書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所編『証言 占領期の左翼メディア』 山本武利
松村高夫著『イギリス鉄道争議と裁判——タフ・ヴェイル判決の労働史』 小笠原浩一
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2005年10月

【2006年3月号 No.568】

論 文 産業革命期日本における重工業大経営労働者の「都市下層民」的性格について（上） 西成田豊
徴用制度下の労資関係問題 佐々木啓
企業別組合におけるパート組合員と意思決定過程への関与——正規組合員との比較から
金井 郁

研究回顧 修業時代の実態調査（上）——共同印刷職場調査（1954～55年）[1] 山本 潔
書評と紹介 大塚昌克著『体制崩壊の政治経済学——東ドイツ1989年』 山田 徹
遠藤公嗣著『賃金の決め方——賃金形態と労働研究』 小越洋之助
宮田加久子著『きずなをつなぐメディア——ネット時代の社会関係資本』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2005年度総目次

月例研究会 米田佐代子著『平塚らいてう』の批判的検討 松尾純子
所 報 2005年11月